※令和４年度以降入学生用

学校番号	４１０

令和８年度　芸術科（美術）

教科	芸術科	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　美術２」　（光村出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・課題作品ごとに到達目標と観点を提示します。それを基に自分の主題を生成し、自分の目で見て、自分の頭で考えて、自分の行動で制作してください。
・「自分とは何か」という問いを深め、表現することで自分をより深く理解していきましょう。
・「他者と自分の関わり合い」を意識し、表現することで他者とのつながりを認識しましょう。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートやレポート、作品で評価します。課題作品の提出期限を守りましょう。
・美術の授業では、感性を高め、表現力と鑑賞の能力を伸ばし、美術が生徒みなさんの生涯にわたり、心や生活を豊かにしていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて主体的に、表現方法を工夫して表している。 美術作品・文化などの表現の工夫を理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的で機能的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	平面構成	修学旅行で使用するしおり等のデザイン スクラッチ ペン画	a:スクラッチの表現方法を理解し、描画道具を効果的に使うことができる。 b: 主題を自ら生成し、主題に沿ったモチーフを選択することができる。平面構成を理解し、技法を利用して、主題を効果的に表現しようとする。 c: 主題を追求し、形態、濃淡、構成などを工夫し、創造的な表現の構想を練っている。	作品 ワークシート	作品	作品 ワークシート
		体育大会のポスター制作	a: ポスター表現について学び、体育大会のポスターを効果的に制作する。 b: 主題に沿ったモチーフを選択し、体育大会を効果的に宣伝するための表現方法を考えることができる。 c: 主体的に取り組み、主題を効果的に表し、表現方法に創意工夫が見られる。	作品	作品	作品 ワークシート
2学期	工芸	かごを編む	a: 編み方について学ぶ。多様な編み方を理解する。 b: 素材の特性を生かし、立体的に表現できる。色や編み方に創意工夫がされている。 c: 細部までこだわり、丁寧に制作しようとする。	作品	作品	作品
	版画表現	消しゴム判子	a: 版画表現について学ぶ。道具を正しく使いこなす。 b: 主題を効果的に表現するために、技法を生かし、創造的な表現の構想を練っている。 c: 構成などを工夫し、主体的に取り組んでいる。	作品	作品	作品 ワークシート
3学期	絵画表現	風景画 抽象画	a: 絵画表現について学ぶ。描画道具を使いこなす。 b: 主題を効果的に表現するために、技法を生かし、創造的な表現の構想を練っている。 c: 自己の内面を見つめ、自ら主題を生成する。主体的に取り組み、表現方法に創意工夫がみられる。	作品 ワークシート	作品	作品 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度